

者実者敏
任正任勝
責集責集
行谷集川
発古編石
他編集
名4

SEOS便り

平成二十五年

新事業年度の抱負

常務取締役 古谷 正実

社員の皆様！毎日の勤務、お疲れ様です。新事業年度のスタートに当たり、私の抱負を述べさせていただきます。

本年は、政府も自民・公明の連立政権に変わり、さつそく円安・株高となり日本経済を押し上げております。きつと素晴らしい年になるのではないかと、期待をしております。しかし、私たちの業界は、低価格競争、最賃のアップ、労働力不足など相変わらずの厳しい状況にあります。そういう環境下でも、弊社は敢えて増収増益の事業計画を策定致しました。なぜなら、増収増益をしていかなければ、会社の未来はないからです。その基軸となる項目は、新規顧客の拡大 既存顧客の維持 財務体質の強化 社員教育の推進 労務管理の徹底です。

これらを具現化していく為には、社員の皆様の会社を良くしようという強い意識が、何より大切です。特に、管理職の皆様には、自ら先頭に立ち、自ら結論を出す姿勢を持って頂く事を切望致します。その為に、更に会社の情報を開示していきたいと考えております。

本年の干支である巳は、植物に種子が出来始める時期、すなわち実を結ぶという意味があります。この干支にあやかり、皆様と心をつなぐに、目標達成という実を結ぶ年にしたいと、決意を致しております。どうぞ御理解・御協力の程宜しくお願い致します。



取締役管理本部長 石川 勝敏

例年になく全国的に厳しい冬でしたが、時折春近しを感じさせる日が増えてきました。既に新事業年度がスタートしていますが、改めて今年の指針を簡単にまとめたいと思います。

昨年十二月に安倍政権が発足し、経済立直し政策がメディアを通して発表されています。国民の多くが景気回復に対する期待が高まっております。政権支持率にも表れています。今後は公共事業を中心とした景気刺激策が具体化されて来るものと予測されます。

しかしながら、当ビルメンテナンス業界や警備業界には、直接的にその恩恵を受けにくい特徴があることから、当面は経済に変化なしとの認識に立つて臨むことが重要と思われまます。従って、年頭にも申し述べた通り

- 一、常に新規顧客の開拓を全社を挙げて継続的に推進し、営業体制の強化を図る
- 二、業務品質の向上に全力を挙げて取り組み、顧客の期待に応える
- 三、業務・事務の見直しを徹底し、無駄・むら・無理のない効率の改善を図る

の三点が重要事項と考えていますので皆様の御理解と御協力を宜しくお願い致します。



AGS事業本部本部長 松本 孝次

AGSの平成二十四年度は、増収増益と適正利益の確保を目標にチャレンジして参りましたが、増収増益に関しては、満足な成果が得られませんでした。その反省を踏まえて、平成二十五年年度は、再度増収増益と適正利益の確保にチャレンジし、何がなんでも目標を全うしなければならぬ年だと思っております。その為には、皆様方のご協力無しでは到底達成できるものではありません。絶大なるご協力をお願い致しますと共に、一人三役を確立する年としてご理解とご協力を宜しくお願い致します。頑張りましょう。



GMC事業本部本部長(兼)施設部長 白濱 実幸

平成二十五年年度は、持続的増収増益を可能とする事業基盤を確立する為に、組織力、現場力の強化を推し進めたいと思っております。

まず新規顧客の獲得による売上の拡大。特にルート顧客への更なる営業等提案により、新規案件の掘り起こしに努め、安定した売上の確保を図りたい。また既存顧客においては、更なる積極的なコミュニケーションを図ることと現場力を向上させ、今まで以上の関係強化に努めていきたい。そしてこれらは組織として取り組み、継続性を以てお客様からの信頼獲得、すなわち継続契約に繋げていきたい。

新事業年度も大変厳しい環境下にあります。安定的な売上と利益の確保、そしてその為の組織作りを積極的に進めて参ります。皆様方のご協力宜しくお願い申し上げます。



常駐保安部長 中村 宏

常駐保安部の基本方針は、増収増益・法令順守・次世代社員の育成の三点であります。古谷常務の下、二年余りの営業努力により荻窪に大輪の花が咲くことになりました。全社一丸となつて体制を構築し、この大輪の花を根付かせていくことが今期の最優先課題と捉えています。その為には、「ムリ・ムラ・ムダ」を排除し、効率アップを図る。教育の充実による有資格者の増強。若手社員育成の継続実施。が命題になります。また今後の課題として、女子警備員の増員を図り、保安警備だけでなく幅広く活躍できる場を確保していきたいと思ひます。

最後に私も今年で六十歳と節目の年になります。過去の殻を脱皮して皆様の力を借りて新しいAGSを築いていきたいと思ひます。



環境部長 児嶋 和彦

昨年は事業年度早々、大型官庁物件の失注に依り、売上・利益共に大変厳しい惨たんたる年となつてしまひ、責任を痛感しております。また三十年以上勤務された現場責任者の突然の死という悼ましい出来事もありました。(合掌)

新年度も茨の道が予想されますが、是が非でも良い年になるべく、環境部一同「百の理屈より一つの実行」をモットーに頑張つて参ります。



機械警備部長代理 寺本 憲生

新しい事業年度がスタート致しましたが、警備業界、特に機械警備を取り巻く環境は非常に厳しいものとなっております。今年も、既存ユーザーとのコミュニケーションの確保による解約防止の徹底はもとより、SEOS営業の更なる拡大により、機械警備業務以外の対応業務・現送業務・カメラレンタルシステム等の拡販にも力を入れて参ります。また一方で、機械警備部にとって後継者の育成も大きな課題となっております。特に今年度は、営業及び技術担当の育成の年と考えております。

機械警備部及びAGSの「増収増益の達成」と更なる発展の為に、全力を注いで参りますので、皆様のご協力を宜しくお願い致します。



埼玉支社長 岩澤 利彦

この度、埼玉支社長を拝命致しました。昨年度は営業開発至や本社の方々からの新規が大きく、GMCは達成出来ましたが、AGSは解約もあり大変厳しい結果でした。本年度は新規物件の獲得を大目標に売上・利益達成を目指します。現場で業務をしている社員の皆さん一人ひとりに「業務そのものが営業」「皆さんが営業員だ」という考え方を浸透させることで現物件を守り、営業拡大へと繋げていきたいと思ひます。さらに警備・清掃だけでなく、設備をプラスして本来のSEOS営業だと考えます。皆さんのお力添え宜しくお願ひ致します。



千葉支社長代理 岡野 勇

已年である本年は心身ともに新しく脱皮し、新規業務を開拓し営業推進を図つて行く所存です。我々の業務はお客様の業務のサポートサービスです。お客様と永くお付き合いしながら進める業務でありますから、既存物件の管理が大変重要です。ご契約の範囲内で満足のいくサービスをいかに提供出来るかで、信頼が保たれ増収増益を達成させる源になるのです。コミュニケーションとチームワークを保ち、資質の向上・法令順守・危機管理の徹底に努め、SEOS営業の更なる推進の為、皆様のご理解ご協力の下に邁進致します。



横浜支社長代理 阿部 良一

この度岩澤支社長の後任として横浜支社長代理に拝命致しました。ここにご報告させていただきます。なにぶんも身に余る重責ではございますが、諸先輩支社長に負けぬよう、微力ではございますが、誠心誠意、業務に全力を尽くす所存でございます。ビルメンテナンス業界も大変厳しい環境ですが、顧客満足度はもとより、会社満足度を整え、明るく、そして強い横浜支社を目指します。



経理部長代理 砂田 隆

新事業年度のスタートに当たり経理部として、次のことを目標に致します。月次決算及び本決算の円滑な処理。事業部及び管理本部内の連携による滞留債権(遅延売掛金)の減少及び柔軟な業務処理体制の構築。備品等の資産管理と適正な在庫管理の構築及び各支社への具体的な指導(経費処理)

以上の三点に全力で取り組んで参ります。各事業部・支社のご協力をお願い致します。



スタッフ大募集!

常駐保安部において新規現場獲得により、警備員を大募集しております。皆さんのご家族、ご親戚やお知り合いでお仕事をお探しの方がいらつしやいましたら、是非ご紹介ください。

仕事：防災センター業務、駐車場業務、巡回業務、受付業務
勤務地：荻窪タウンセブン

詳しくは採用担当 田平までご連絡ください。



新事業年度 経営指針

平成25年度小泉グループ共通経営指針
新たな革新と創造を目指して
危機に備え、チャンスをつかむ
「増収・増益体制の確立を目指して」

- 1. 営業の総点検
 - 環境・市場・顧客の徹底分析による強固なる営業展開 -
- 2. 総額経費の圧縮
 - 「一歩・一分・一円」単位で更なる超効率化に挑戦 -
- 3. 後継者の育成
 - 教育を強化し、夢のある心豊かな人材を育成 -
- 4. 危機管理の徹底
 - 法令順守と想定外危機対策の徹底 -



平成25年度ビルセクター経営指針（GMC・AGS共通）
《事業の継続を目指して...体力の強化と体質の改善を図ろう！》

- 1. 「SEOSブランド」の更なる推進
 - ～ 固定物件の重点営業と解約防止の強化～
- 2. 費用対効果の徹底検証と実践
 - ～ 経費の有効活用とムダの全面排除～
- 3. 次世代幹部社員の選別と育成システムの構築
 - ～ 自主性・主体性の醸成による実践力の向上～
- 4. 関係法令の順守と危機管理の徹底
 - ～ 監督官庁との連携強化と災害訓練の継続実施～



ISO更新認証！

平成25年1月10日・11日の2日間に亘ってISO14001更新審査が実施されました。審査委員より「3年間でCO2 3%削減の環境目標を達成し、書類も整理されており、継続的に手法の改善もなされている」という評価を頂き、更新の認証となりました。



～ ISO委員会 委員長 児嶋環境部長より～

ISO14001の認証取得とは何かと言いますと、地球をきれいにしようと考えている企業と認められたと考えて下さい。今回更新認証を頂いたのは、社員の皆様のご協力の賜物です。これからも省エネ・省資源に取り組み、地球環境に配慮した「アクティブ・エコ・カンパニー」を目指して参ります。

防災訓練

1月の防災訓練では、災害伝言ダイヤル(171)の体験利用ということで、各自が会社の代表電話番号に録音したものを再生して内容を聞き、その内容を報告する訓練を行いました。災害伝言ダイヤルの体験は毎月1日と15日に利用できますので、ご家庭内でも体験して活用していただきたいと思います。

2月には本郷消防署の方にご協力いただき、訓練用の人形とAEDをお借りして救急救命処置の体験を行いました。上級救命技能認定取得者が主導して講習を実施し、意識確認から心肺蘇生、AEDの使用までの体験をしました。これを機に本社にはAEDが設置されます。



救急救命処置の体験は未経験者の方を中心に行いました

暗闇を想定し、充電式の照明を使用した訓練も行っています

